

# 図書館だより

NO. 117 2007年 11月号

(2007年11月1日発行)

はつかいち市民図書館 (廿日市市下平良 1-11-1)

電話(0829)20-0333

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

## 読書会を開催します

1回ごとに、1冊ずつ、課題図書を読み、感想や疑問点を話し合います。作品を読み深める過程の発見の楽しさ、仲間と語らう喜びもあります。感動と癒しの、ゆったりとした時間を過ごしてみませんか。

### 読書会のすすめ 家庭の文化一心をはぐくむ「巣作り」

ある新婚さんに、『私は「家庭の文化」を育てては』と提言しました。家庭の文化の要素、その一つは対話です。夫婦の対話は、夫や妻の極端な発想や、間違いを生じかねない着想を、バランスの取れた生き方に修正するに違いありません。いま一つは、読書のある生活です。溢れる映像メディアや過激な商業主義にさらされて、ことばの生活があやしくなっています。書物の「書きことば」は、著者が吟味した揺るぎのないことばです。このことばを通じて、私たちは論理的な思考力とイメージする力を形成するといわれます。読書家の語彙は緻密で、しかも豊富です。「ことばの力」は「考える力」の母となり、「考える力」は「生きる力」の基底となります。作品に登場する人物を読むことは、その人物をイメージし、生々しい生き方を受け止めることです。主人公は、多様な価値観、夢や理想、生きるヒントを示してくれます。この人物に接することで、私たちは、時には「元気」をもらい、時には「よりよく生きる」道を考えさせられます。家庭に本棚があり、そこに心を育てる書物がある。家族の間に対話がある。こうした雰囲気、私の期待する「家庭の文化」です。それは、やがて生まれてくる赤ちゃんの心をはぐくむ「巣づくり」となります。子どもが成長する過程において、家庭の文化はさらに重要な役割を果たすことになるでしょう。

読書会講師 深川賢郎

と き ①平成19年11月21日(水) ②12月12日(水)  
③平成20年 1月16日(水) ④ 2月13日(水)  
\*いずれも 10:00~12:00

ところ はつかいち文化ホールさくらびあ 会議室

課題図書 第1回『まほろ駅前多田便利軒』 三浦しをん/著

(課題図書をお持ちでない方は、図書館で用意します)

定 員 15名(希望者。ただし、できるだけ4回とも出席できる方)

申込方法 電話か直接窓口で、事前にお申込ください。

講 師 深川賢郎(呉大学非常勤講師、JPIIC読書アドバイザー)



# 私・図書館員のすすめる本

## 中学生のすすめる本

ヤングアダルト

『妖怪アパートの幽雅な日常』

香月日論／著

913/コ 2003年 講談社

高校は、寮で生活すると決めていた主人公の夕土（ゆうし）に突然、寮が火事になったと知らされる。しかも直すまで、半時もかかってしまうのだった。急いで、アパートなどを探すが見つかるはずもない。そんなとき、夕土が会ったのは前田不動産だった。オバケが出るといういわく付きのアパートに住むか住まないか、夕土の出した決断は？！

紹介者：匿名希望

## 図書館員のすすめる本

一般書 ターシャ・テューダーの言葉

『生きていることを楽しんで』

ターシャ・テューダー／著

726.5/チ 2006年 デイアクトリー

ターシャ・テューダーは、アメリカの現役絵本作家です。90歳を越す現在も、手作りの家で、ガーデニングを楽しみながら絵を描いて暮らしています。年若いながらも、前向きな考え方で、ありのままに生きるライフスタイルに、日本にも多くのファンがいます。本書は色とりどりに咲き誇る花々、手作りの温かい表情のぬいぐるみたち、やさしいタッチの絵や写真を交互にわかりやすい言葉で彼女の哲学が語られます。彼女の才能を改めて感じ、また十分に癒される一冊です。

## 今月の新着 大人の本

図書館には1カ月に約700冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

☆☆図書館のホームページで新着図書の一覧を見ることができます☆☆

- 『人間を守る読書』四方田犬彦／著 文芸春秋 S019/ヨ
- 『高校生のための哲学入門』長谷川宏／著 筑摩書房 S100/ハ
- 『白洲次郎の青春』白洲信哉／著 幻冬舎 289.1/シ
- 『分裂につぼん』朝日新聞社「分裂につぼん」取材班／著 朝日新聞社 302.1/フ
- 『協働コーディネーター』世古一穂／編著 ぎょうせい 335.8/セ
- 『子どものメンタルヘルスがわかる本』スティーブン・V. ファラオーネ／著 明石書店 493.9/フ
- 『石見銀山と日本の世界遺産候補地』戸村広／撮影 毎日コミュニケーションズ S709.1/ト
- 『死なないぞダイエット』北折一／著 アスコム 595/キ
- 『かわいくておいしい』伊藤まさこ／著 主婦と生活社 596/イ
- 『定年から始める男の料理』北連一／著 有楽出版社 596/キ
- 『農業と食料のしくみ』藤岡幹恭／著 日本実業出版社 610.4/フ
- 『ミス・ポターの夢をあきらめない人生』伝野浩子／著 徳間書店 726.5/ホ
- 『俺の彼』島田洋七／著 徳間書店 779.1/シ
- 『生きてるだけで金メダル』樋口強／著 春陽堂書店 916/ヒ
- 『親の家を片づけながら』リディア・フレム／著 ヴィレッジブックス 956/フ
- 『書庫の母』辻井喬／著 講談社 F/ツ
- 『十二の嘘と十二の真実』あさのあつこ／著 徳間書店 F/ア

# あたらしく入った本 こどものほん

## 『帆かけ舟、空を行く』

クエンティン・ブレイク作 柳瀬尚紀訳 評論社 E/7

砂浜を歩いていたイソベルとニコラスは、こわれた舟を見つけた。ばらばらになった部分をもとどおりに組み立てたふたりは、舟に乗りこむと…。作者が世界中の子ども 1800 人との共同作業でつくりあげた絵本。

## 『世界の国旗図鑑—歴史とともに進化する国旗—』

刈安望著 偕成社 288/カ

国旗の色とデザインはとても重要な意味がある。政変を反映し頻繁に変化して、その国の歴史を物語っている。本書はすべての独立国の国旗と国際オリンピック委員会に加盟している地域の域旗を掲載。国や地域の成りたちや旗のいわれなどを解説した本。

## 『おはようスーちゃん』

ジョーン・G・ロビンソン作・絵 中川李枝子訳 アリス館 933/0

パパとママと黄色いドアの家に住んでいるスーちゃんは、ある日パパと留守番をすることになりました。パパの口真似で「あたしはパパのおもりをするか」と言って…。ちいさい女の子の日常を温かいまなざしで描いた作品です。

『とおいまちのこ』 たかどのほうこ作 ちばちかこ絵 のら書店 E/チ

『おじいちゃんのところ』 ルッ・V・グリフィス文 ジェーム・スティブツリ絵 あきのしょういちろう訳 童話館出版 アナ・アルグト絵 (佐学社『おじいちゃんの家』を翻訳し新たに復刊)

『中村俊輔—世界をかける背番号10—』 矢内由美子文 学習研究社 783/チ

『赤鬼エティン—愛蔵版おはなしのろうそく8—』 東京子ども図書館編・発行 908/フ

『エミリ・ディキンソン家のネズミ』 エリザベス・スパイアズ クラ・A・コウ絵 みすず書房 933/ス

## 『7日だけのローリー』

片山健作 学習研究社 E/カ

ある日、家の外にみたことのない犬が！まいごの犬は飼い主が見つかるまでの一週間、ぼくのうちにいてもいいことになりました。ぼくは、ローリーと名づけて世話をしたのですが…。ぼくの気持ちがいねいに描かれています。

## 『どんぐりころころ—せんにタッチ！—』

大久保茂徳監修 ひさかたチャイルド 657/ト

どんぐりの形や大きさがいろいろなのは、みんな違う種類の木になるから。鳥もりすもねずみもどんぐりが大好き。どんぐりがいっぱいこの本は、どんぐりの特徴や成長の様子などを鮮明な写真でわかりやすく紹介しています。

## 『ルガルバンダ王子の冒険—古代メソポタミアの物語—』

キャシー・ヘンダソン再話 ジェイン・レイ絵 百々佑利子訳 岩波書店 929/ル

エンメルカル王の息子ルガルバンダはウルクの都を最高の都にしたいという王の願いのため兄たちと一緒に戦いに行きました。ところが途中の山の中で倒れてしまい…。五千年以上前から現在のイラクで語られていたお話です。

『ぐりとぐら』の絵本画家山脇百合子さんの本を展示しています。

「このよでいちばんすきなのは おりょうりすることたべること」といいながら森へでかける二匹の野ねずみ「ぐりとぐら」のお話は、40年以上にわたって子どもたちに愛され続けているロングセラーです。文章を書いた姉の中川李枝子さんは実妹の山脇百合子（旧姓大村）さんに挿絵を依頼しました。山脇さんは、国立科学博物館を訪問し、たくさんの剥製の中からオレンジ色のネズミの標本を見つけ「ぐりとぐら」のモデルに選んだそうです。『ぐりとぐら』（1963）は秋、『ぐりとぐらのおきゃくさま』（1966）は冬、『ぐりとぐらのかいすいよく』（1976）は夏、『ぐりとぐらのえんそく』（1979）は春と四季が揃っている『ぐりとぐら』のシリーズのほか、絵本『そらいろのたね』、や『いやいやえん』などの児童書も集めました。どうぞ、お楽しみください。ふくやま美術館で「ぐりとぐらのなかまたち山脇百合子絵本原画展」が11月11日まで開催されています。

# 新刊絵本の紹介

平成18年11月～平成19年10月の間に、はつかいち市民図書館で購入した新刊絵本の中から、図書館員がお薦めの本を紹介します。

と き 平成19年11月29日（木） 10:00～12:00

と ころ 廿日市市役所7階

申込方法 事前の申込みは不要です。

対 象 一般



## 今月の展示

<さくらびあ展示>・・・一般書

- ・『さくらびあ物語』—黒澤明に関する著作—

「世界の黒澤」と呼ばれた、映画監督 黒澤明に関する本やビデオを展示します。

<中 央 展 示>・・・一般書

- ・『木工を楽しむために』

廿日市市は、木工のまちです。もっともっと、木工の楽しさを知ってもらうために、木工に関する本を集め、展示します。木工作品の展示も同時に行います。

<児 童 展 示>・・・児童書

- ・『アジアの国々の本』

今月はアジアの作家による、アジアを舞台にした絵本を集めました。アジアの人々の生活の様子や遊びなどが分かります。日本との違いや意外な共通点がみつかるかも！！



## 11月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
				1	2 ◎	3
4	5 休館	6	7	8	9	10 ☆
11	12 休館	13	14	15	16 ◎	17 ■
18	19 休館	20	21	22	23	24 ☆
25	26 休館	27	28	29	30 休館	

◎…ちいさいこのためのおはなし会  
【対象】乳幼児  
【時間】1回目 11時～  
2回目 11時30分～  
※整理券を相談窓口で配布します  
☆…おはなし会  
【対象】幼児から大人まで  
【時間】11時～  
いずれも【場所】は  
図書館会議室です  
■…ストーリーテリングのおはなし会

